

薬 剤

乳剤、乳剤（低臭性）

■ 三共ザーテル 10 % 乳剤 S、三共ザーテル V P 乳剤



特長

- ①対象害虫の幅が広い。
- ②ゴキブリ、ニクバエ幼虫（ウジ）
ユスリカ幼虫、チョウバエ幼虫には特に有効。
- ③速効性、殺虫力、残効性の三拍子を兼ねる。
- ④低毒性、低魚毒性である。
- ⑤用法、用量の条件が優れる。

■ ザーテル V P 乳剤

■ ザーテル 10 % 乳剤 S（低臭性）
成分：クロルピリホスメチル 10 %
対象：ゴキブリ、ハエ、ボウフラ
容量：18 L 区分：医薬品

成分：クロルピリホスメチル 5 % + ジクロルボス 2 %
対象：ゴキブリ、ハエ、ボウフラ
容量：18 L 区分：医薬品

ザーテル乳剤及び製剤の殺虫性能試験結果

試 験 体	マウス（LD ₅₀ ）	ラット（LD ₅₀ ）	ブタ（LD ₅₀ ）	鶏（LD ₅₀ ）
試 験 体	2,345mg/kg	8,647mg/kg	>8,800mg/kg	4.8g/kg
10 % 乳 剤 S	>4mg/kg	>6mg/kg	—	—
ザーテルVP乳剤	2.8mg/kg	2.8mg/kg	—	—
ザーテルVP製剤	>20.0mg/kg	>13.2mg/kg	—	—
5 % 水 懸 液	8.4mg/kg	8.8mg/kg	>10g/kg	5.8g/kg
2 % 粉 末	>15g/kg	>9g/kg	>1g/kg	20~40g/kg

お勧め

害虫防除には、専用の
噴霧器を使いましょう！
B&Gは薬剤を均一に噴霧
でき噴霧面での薬剤の
流れだしがなく経済的、ノズルを止めたとき
にも“ピタッ”と止まりますので、移動中など
薬剤停止状態でのボタもれがありません。

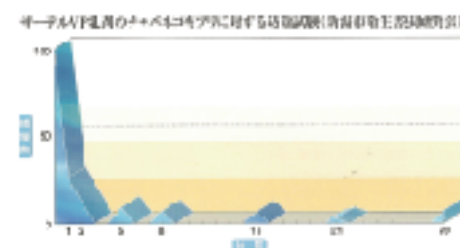


■ 三共サフロチン V P 乳剤



特長

- ①抵抗性イエバエに有効。
- ②殺虫剤臭が少ない。
- ③ゴキブリに対する残効性が特に優れている。
- ④忌避性がない。
- ⑤遅効性であるが的確な効力を発揮。



成分：プロベタンホス 3 %、ジクロルボス 2 %
対象：ハエ・カの成虫、ハエの幼虫、ボウフラ
ゴキブリ、屋内塵性ダニ類
用量：18 L
区分：医薬品
希釈：10 倍（ゴキブリ、ハエ・カの成虫）
200 ~ 600 倍（ハエの幼虫）

サフロチン乳剤及び製剤の殺虫性能試験結果

試 験 体	マウス（LD ₅₀ ）	ラット（LD ₅₀ ）	ブタ（LD ₅₀ ）	鶏（LD ₅₀ ）
試 験 体	8.2mg/kg	3.7mg/kg	8.4mg/kg	0.9g/kg
5 % 水 懸 液	4.2mg/kg	2.8mg/kg	—	—
サフロチンVP乳剤	2.8mg/kg	3.2mg/kg	—	—
サフロチンVP製剤	6.5mg/kg	17.1mg/kg	—	—

乳剤

納期記号	商品コード	商品名	成分	容量	発注 単位	区分	希釈倍率、用量、その他
	0006011	三共P スミチオン乳剤	フェントロチン10%	18L	1	Ⓔ	(ゴキブリ) 希釈倍率：10 ~ 20 倍 用量：50 mL/m ² その他ハエ・カの成虫幼虫にも有効
	0006014	三共スミチオンVP乳剤	フェントロチン5%、ジクロルボス2%	18L	1	Ⓔ	(ゴキブリ) 希釈倍率：7 ~ 14 倍 用量：50 mL/m ² その他ハエ・カの成虫幼虫にも有効
	0006361	「金鳥」除虫菊乳剤	ピレトリン	18L	1	Ⓔ	(ウジ) 希釈倍率：30 倍 用量：2 L/m ² その他ハエ・カの成虫、カの幼虫に有効
	0006003	三共ザーテルVP乳剤	クロルピリホスメチル5%、ジクロルボス2%	18L	1	Ⓔ	(ゴキブリ) 希釈倍率：7 ~ 14 倍 用量：50 mL/m ² その他ハエ・カの成虫幼虫にも有効
	0006339	金鳥DDVP乳剤	ジクロルボス5%	18L	1	Ⓔ	(ゴキブリ) 希釈倍率：10 倍 用量：50 mL/m ² その他ハエ・カの成虫幼虫にも有効
	0006362	カメムシ用キンチョール乳剤	シラフルオフェン、フェノトリン	1L	3		(カメムシ類) 希釈倍率：10 ~ 20 倍 用量：50 ~ 100 mL/m ²

乳剤（低臭性）

納期記号	商品コード	商品名	成分	容量	発注 単位	区分	希釈倍率、用量、その他
	0006013	三共スミチオン乳剤2号	フェントロチン10%	18L	1	Ⓔ	(ゴキブリ) 希釈倍率：10 ~ 20 倍 用量：50 mL/m ² その他ハエ・カの成虫幼虫にも有効
	0006018	三共スミチオンVP乳剤2号	フェントロチン5%、ジクロルボス2%	18L	1	Ⓔ	(ゴキブリ) 希釈倍率：7 ~ 14 倍 用量：50 mL/m ² その他ハエ・カの成虫幼虫にも有効
	0006002	三共ザーテル乳剤10%S	クロルピリホスメチル10%	18L	1	Ⓔ	(ゴキブリ) 希釈倍率：10 倍 用量：25 ~ 50 mL/m ² その他ハエ・カの成虫幼虫にも有効
	0006021	三共サフロチン乳剤	プロベタンホス3%	18L	1	Ⓔ	(ゴキブリ) 希釈倍率：10 倍 用量：50 mL/m ² その他ハエ・カの成虫幼虫にも有効
	0006022	三共サフロチンVP乳剤	プロベタンホス3%、ジクロルボス2%	18L	1	Ⓔ	(ゴキブリ) 希釈倍率：10 ~ 15 倍 用量：50 mL/m ² その他ハエ・カの成虫幼虫にも有効

薬 剤

油剤、水和剤

■ ノビマックス



特 長

種々の不快害虫に対し卓越した効果があります。
ノックダウン効果と速効的な致死効果があります。残効性にすぐれています。

成 分： プロボクスル1％(カーバメイト系)
容 量： 4L

使用方法

塗布する場合	台所の食器棚、流し、コンロ台、戸棚の引き出し、床、壁の隅々に10cm巾の帯状に塗布して下さい。
噴霧器を使う場合	目標からある程度離れた場所から10cm幅の帯状になるように噴霧塗布して下さい。1㎡当り75～100mLが塗布基準量です。

■ フマキラーND03



特 長

屋内塵性ダニとして承認を受けた医薬部外品です。

有効成分： フェノトリン

効能・効果： 屋内塵性ダニ類の増殖抑制及び駆除、イエダニ及びノミの駆除

用法・容量： 屋内塵性ダニ類には、タタミ、カーペット等の表面に20～30cmの距離から、1㎡あたり約4mLの割合で噴霧します。イエダニ、ノミおよび異常繁殖した屋内塵性ダニ類には直接噴霧します。

溶 剤： エタノール

油 剤

納期記号	商品コード	商品名	成分	容量	発注単位	区分	希釈倍率、用量、その他
	0006016	三共シミチオンVP油剤	フェントロチオン0.5%、ジクロルボス0.2%	18L	3	Ⓔ	(ゴキブリ)用量：50mL/m ² ハエ・カの成虫、ボウフラに有効
	0006335	金鳥SV油剤	フェントロチオン0.5%、ジクロルボス0.2%	18L	1	Ⓔ	(ゴキブリ)用量：50mL/m ² ハエ・カの成虫、ボウフラに有効
	0006005	三共ザーテルVP油剤	クロルピリホスメチル0.5%、ジクロルボス0.2%	18L	3	Ⓔ	(ゴキブリ)用量：50mL/m ² ハエ・カの成虫、ノミ、イエダニに有効
	0006025	三共サフロチンVP油剤	プロペタンホス0.3%、ジクロルボス0.2%	18L	3	Ⓔ	(ゴキブリ)用量：50mL/m ² ハエ・カの成虫、ノミ、イエダニに有効
	0006075	三共ラビホス-P油剤	※備考参照	18L	3	Ⓔ	(ゴキブリ)用量：25～50mL/m ² ハエ・カの成虫幼虫に有効 ※成分 > ジクロルボス0.3%、フタルスリン0.03%、サイネピリン0.25%
	0006077	三共ビレハイス油剤	※備考参照	18L	3	Ⓔ	用量：直接噴霧で適量 ゴキブリ、ノミ、イエダニ等に有効 ※成分 > フタルスリン0.2%、d-T80レスメトリン0.05%、ピペロニルブトキシイト0.05%
	0006495	ノビマックス油剤	プロボキスル1%	4L	4		原液 用量：10cm幅の帯状 75～100mL/m ² アリ、ムカデ、ワラジムシ、ダンゴムシ
	0006532	フマキラーND-03	フェノトリン	2L	2	Ⓔ	原液 用量：4mL/m ² 屋内塵性ダニ類、ノミ
	0006628	エスガードP(新日本化工)	ピリダフェンチオン	16L	1		量用防虫剤、アルコール製剤
	0006629	エスガードE(新日本化工)	エトフェンプロックス	16L	1		ジュータン用防虫剤、アルコール製剤
	0006534	フマキラービレハイス油剤(低臭性)	※備考参照	18L	1	Ⓔ	用量：直接噴霧で適量 ゴキブリ、ノミ、イエダニ等に有効 ※成分 > フタルスリン0.2%、d-T80レスメトリン0.05%、ピペロニルブトキシイト0.05%

水 和 剤

納期記号	商品コード	商品名	成分	容量	発注単位	区分	希釈倍率、用量、その他
	0006084	三共ザーテル水和剤 5%	クロルピリホスメチル 5%	5g×100	10	Ⓔ	(ウジ)希釈倍率：発生源に400倍 用量：4L/m ² その他、ゴキブリ、ボウフラにも有効

■ 三共ザーテルVP油剤、三共サフロチンVP油剤



■ ザーテルVP油剤

成分：クロルピリホスメチル0.5%
ジクロルボス0.3%

対象：ハエ・カ成虫、ボウフラ
ゴキブリ、ノミ
トコジラミ、イエダニ

容量：18L

区分：医薬品

■ サフロチンVP油剤

成分：プロペタンホス0.3%
ジクロルボス0.2%

対象：ハエ・カ成虫、ボウフラ
ゴキブリ、ノミ、トコジラミ
イエダニ、屋内塵性ダニ類

容量：18L

区分：医薬品

ザーテル油剤の駆除効果試験

試 験 体	クロルピリホス0.5% (100倍)	クロルピリホス0.5% (100倍)	クロルピリホス0.5% (100倍)	クロルピリホス0.5% (100倍)
10%乳剤	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg
ザーテルVP油剤	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg
ザーテルVP油剤	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg
5%水剤	12.7mg/kg	12.7mg/kg	12.7mg/kg	12.7mg/kg
2%粉剤	25.4mg/kg	25.4mg/kg	25.4mg/kg	25.4mg/kg

お勧め

害虫防除には、専用の噴霧器を使いましょう！
B&Gは薬剤を均一に噴霧でき噴霧面での薬剤の流れだしがなく経済的、ノズルを止めたときにも“ビタッ”と止まり、ばたもれを起こさないのどしみや汚れの原因を作りません。



ザーテル油剤の駆除効果試験

試 験 体	クロルピリホス0.5% (100倍)	クロルピリホス0.5% (100倍)	クロルピリホス0.5% (100倍)	クロルピリホス0.5% (100倍)
イエ・カ成虫	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg
イエ・カ成虫	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg
イエ・カ成虫	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg
イエ・カ成虫	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg
コバヤシイエ成虫	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg
コバヤシイエ成虫	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg
コバヤシイエ成虫	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg
コバヤシイエ成虫	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg
コバヤシイエ成虫	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg
コバヤシイエ成虫	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg	2.54mg/kg

薬 剤

IGR剤（水和剤、発泡錠）

三共デミリン水和剤



成分： ジフルベンズロン 2.5 %
対象： ハエ幼虫(ウジ), ボウフラ
容量： 1 kg
区分： 医薬品

特長

- ①ハエ、蚊、ユスリカ、チョウバエの幼虫が本剤を食べると脱皮に失敗して死亡する。
- ②昆虫の幼虫全令期に、極めて微量で有効である。従って散布適期の幅が広い薬剤である。
- ③哺乳動物、鳥類、魚介類に対して防疫剤の中で最も低毒性の薬剤である。
- ④有機リン剤抵抗性害虫にも有効である。特に畜舎の周辺、ゴミ処理場のハエ防除に好結果が期待される。

お勧め

小さな範囲

側溝や水溜りに



大きな範囲

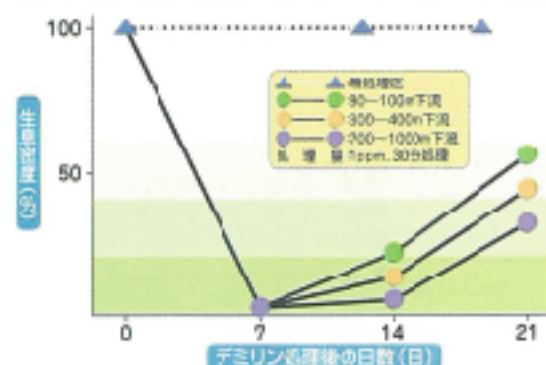
浄化槽や汚水槽に



デミリン原体及び25%水和剤の毒性(LD₅₀)

動物・ルート	原 体	25%水和剤
ラット 経 口	>8,100mg/kg	>40 g/kg
ラット 経 皮	>5,100mg/kg	>40 g/kg
ゾグミ 経 口	>3,762mg/kg	—
コ イ 濃 漬(56L/L)	>100ppm	7,400ppm

都市河川におけるデミリン水和剤処理によるセスジユスリカ駆除結果



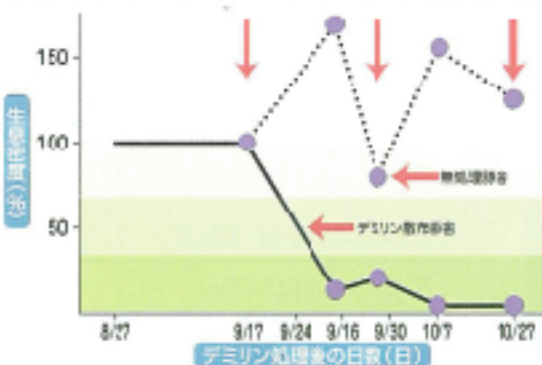
有機リン抵抗性イエバエに対するデミリンの効果

主 成 分	乳 剤 率		二 剤 率	
	IC ₅₀	抵抗性比 [※] (倍率)	IC ₅₀	抵抗性比 [※] (倍率)
デ ミ リ ン	2.1	1.0倍	0.9	1.0倍
フェニトロチオン	87.0	41.4倍	1140	1267倍
マ ラ チ オ ン	1250.0	585.7倍	1380	1533倍

※抵抗性比：抵抗性があるほど数字が大きい。抵抗性がない場合は1.0

デミリン水和剤処理によるイエバエ指数の推移

処理は原液量率に2.1 mL/Lと4 kg/L処理。処理には1 mL/Lと1 kg/L処理（第3回実験データより）



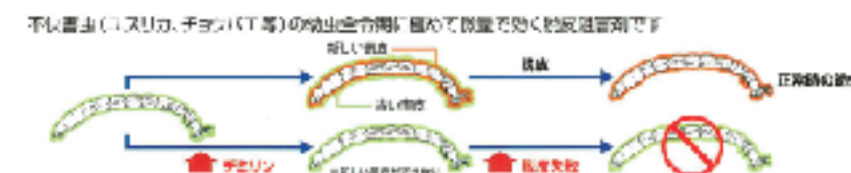
三共デミリン発泡錠（脱皮阻害剤）



成分： ジフルベンズロン 3 %
対象： ユスリカ幼虫、チョウバエ幼虫
容量： 2錠(1錠3g)×100
区分： 雑品

特長

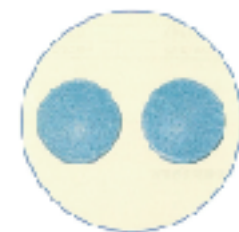
- ①ユスリカ、チョウバエの幼虫が本剤を食べると脱皮に失敗して死亡する。
- ②徐々に溶けて拡散し、1ヶ月後も均一に分布しています。
- ③哺乳動物、鳥類、魚介類に対して防疫剤の中で最も低毒性の薬剤である。
- ④投げ込むだけの簡単使用で雨水升、側溝、浄化槽などから発生する不快害虫を駆除できます。



●1ヵ月間の濃度分布データ

水300 L入った水槽(40×40×100cm)にデミリン発泡錠1錠を投入(有効成分濃度1ppm)し、それぞれの分析区画における濃度を1ヶ月間、測定しました。

分析区域	処理直後	1日後	1週間後	1ヵ月後
中央部水深	0.814	0.247	0.137	0.0839
中央部高さ0	0.259	0.225	0.135	0.0848
容器中央部水深	0.391	0.176	0.136	0.0839
容器端の水深	1.050	0.264	0.128	0.0803
容器端の高さ中	0.370	0.292	0.137	0.0827
容器端の水面	1.829	0.185	0.134	0.0770



アルトシット10F



特 長

- メトブレン配合
昆虫成長制御剤メトブレンの作用により、蚊やハエの変態を抑制し、成虫の出現を抑えます。
- 高い安全性
哺乳動物、魚類、その他有用動物に対する毒性が極めて低い薬剤です。
- 環境を汚染しない
主成分のメトブレンは、効力発現後自然環境下ですみやかに分解されるため、残留性が低く、環境に蓄積されることはありません。
- 有効成分： メトブレン10%
- 容 量： 1 kg

水和剤

納期記号	商品コード	商品名	成分	容量	発注単位	区分	希釈倍率、用量、その他
	0006085	三共デミリン水和剤 25%	ジフルベンズロン 2.5 %	1kg	1	(国)	(ウジ) 希釈倍率：発生源に2.50～5.00倍 用量：2 L/m ² その他ボウフラにも有効なIGR剤
	0006621	アルトシット10F(アースバイオケミカル)	メトブレン 1.0 %	1kg	1	(国)	(ウジ) 希釈倍率：発生源に5.00～10.00倍 用量：2～4 L/m ² その他ボウフラにも有効なIGR剤

発泡錠

納期記号	商品コード	商品名	成分	容量	発注単位	区分	希釈倍率、用量、その他
	0006089	三共デミリン発泡錠	ジフルベンズロン 1.0 %	100錠	1		用量：1錠/水量30～60 L ユスリカ・チョウバエの幼虫に有効な脱皮阻害剤
	0006088	三共デミリン発泡錠	ジフルベンズロン 3.0 %	2錠×100	1		用量：1錠/水量90～180 L ユスリカ・チョウバエの幼虫に有効な脱皮阻害剤

薬 剤

薬剤を知るのに必要な用語

p p m	100万分の1の量（1tの水に対し1gの濃度）
p p b	10億分の1の量
p p t	1兆分の1の量
mg	1000分の1g
μ g	100万分の1g
ng	10億分の1g
I C ₅₀	50%羽化阻止濃度、個体群50%が羽化に失敗する濃度
L D ₅₀	50%致死薬量、個体群50%が致死する薬量
L C ₅₀	50%致死濃度、固体群50%が致死する薬剤の濃度
K T ₅₀	50%ノックダウン時間、50%の供試虫が仰天するのに要する時間
T L m	魚類群50%致死濃度、50%の魚類群が致死する濃度
A D I	1日当たり摂取許容量、人間がある物質を一生にわたって摂取しても現在の知見から障害の現れないと考えられる1日当たりの最大量（mg/kg/日）

ナカさんにおまかせ！

急性毒性とLD₅₀

一時に多量の物質が体内に取り込まれた時に、比較的短時間の内に影響が現れる毒性を急性毒性といいます。

急性毒性の強さを表す尺度として、LD₅₀（50%致死薬量または半数致死薬量）がよく使われます。

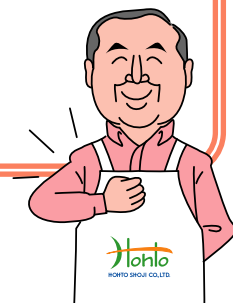
LD₅₀は、試験した同種生物の集団（個体群）の内、50%の個体が死んでしまう容量のことです。単位としましては、普通mg/kg（体重1kg当たりの投与mg）で表します。

例えば経口急性毒性LD₅₀値が、マウスで2000mg/kgだったとします。

これを体重60kgの人で計算しますと、60×2000mg（2g）＝120gとなります。

これは、体重60kgの人が120gの原体（成分）を一度に摂取した場合、危険ということです。

LD₅₀の値が小さいほど、少ない量で生物が死んでしまうということですから、より急性毒性が強いことになります。



チョウバエの生態

オオチョウバエとホシチョウバエは簡易浄化槽、下水処理施設、食品工場排水路、ビル地下水槽、畜舎排水溝など有機物が蓄積している場所でも発する。

両種とも春～秋まで長い期間活動する。暗黒下で幼虫が発生する場合が多く、発生源の発見に苦労する。水際のスカムを採取すれば、幼虫の確認が可能です。

卵期1～2日、幼虫10～15日、蛹期3～4日で、成虫の寿命は10～15日とされている。両種間に生態上の差はほとんどない。



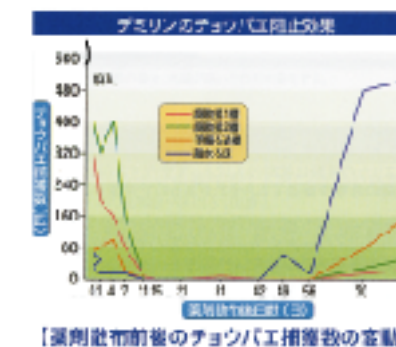
オオチョウバエ幼虫に対する殺虫剤の効果(μg)

殺虫剤	効果(μg)
デミリン	0.001ppm
ザーテル	0.022ppm
アベイト	0.785ppm
バイテックス	0.954ppm
ダイジノン	0.818ppm

◆ チョウバエ幼虫の防除法

チョウバエ幼虫駆除で留意すべきことは、発生源そのものが活性汚泥であるか、下水処理施設であるため、活性汚泥に対する影響のない殺虫剤を選択しなければならない。

ザーテル水和剤を1トン当り20g、デミリン水和剤を4gほどの割合で水に溶かし、発生源に直接散布する。1カ月間隔での防除が望ましい。なお、反復散布が困難な場合は投入量を増やして春季と秋季に散布する。地下ピットや排水管など、薬剤が届き難い場所では、起泡剤を添加して泡状で散布すれば有効である。



試験場所 静岡県内 大型団地
下水処理槽(400人相当)
対象害虫 ハシチョウバエ
使用薬剤 cifusoxan(デミリン)
使用基準 100ppm(本剤40g/100L投入)
結果 チョウバエ幼虫に対するデミリン水和剤の
効果は顕著であった。デミリン投入1日目には
虫量も虫数も低下が見られ、その効果は
およそ2週間持続した。調査するまでの間に
団地がその他の場所より早い時期、世帯の
被害の発生が多いことが認められた。